

コロナに負けるな!

サッカー男子

関西リーグ3年連続6回目の優勝

コロナ禍で総理大臣杯、インカレ中止



2021年度も感染予防を徹底

◆コロナ対策◆

200人を超える大所帯の
大体大サッカー部は2020
年、新型コロナウイルス対策
を最優先し、感染予防をこ
となく1年を乗り切った。部
員を6グループに分けてグ
ループ間の接触を断つ、練習
前は必ず手洗い、うがい、検
温。器具やスタンドの消毒も

徹底した。

2020年3月半ばから約
2カ月のクラブ活動停止期
間中、自習トレーニングす
る選手らは学生トレーナーが
作ったメニューをリモートで
共有。福島充一は「停止
期間が閉じてからは、けが人
を出さないよう用心しながら
練習メニューをこなすは
ならなかった。試合も少な
く、技術的にアップするのが



永吉広大(体育4年) 小塚祐基(体育4年) 疋田優人(体育4年)
横山翔大(体育2年) 河村匠(体育2年) 大島遼介(体育3年)
小川大空(体育3年) 高木慎也(体育3年) 田原佑真(体育2年)

のシュート数は一本差、大
大が10で制した。第3節
の甲南大学戦は1-0で引き
分け、第4節の京都産業大
学戦は前半に大体が先制し
後半は一進一退の攻防を耐え
て1-0で勝利した。

第5節、相手の近畿大学は
サッカー部員の大規模使用が
覚悟したため出場を辞退し、大
阪学院大学戦は両チーム

体大の不戦勝。第6節の阪南
大学戦は、大体大が前半で得
点して2-0で取り返し、後
半は開始直々に阪南大にゴール
を奪われるが、追加点を決
めて3-1で勝利した。第7
節の関西大学戦は、MF大崎
航詩(体育4年)が攻守に貢
献。DF平山裕也(体育2年)、
DF三輪大智(体育2年)ら
が冷静な守備を發揮し、優勝
を狙う関西大を3-1で圧倒
した。

第8節の立命館大学戦は激
しい攻防の末、0-0で引き
分け。第9節の桃山学院大学
戦は、大体大は最後まで果敢
に攻めるシュートが決めら
れず、0-2で初めて敗北し
た。勝利した方が優勝に大き
く近づき、第9節のびわこ成蹊
スポーツ大学との対戦。大
体大は、大崎のシュートで
先制。1-1の同点の後後半戦
に入り、PA外にほれた出た
ボールをMF疋田優人(体育
4年)がシュートして2-1
とし、勝利を決めた。最終節
の関西学院大学戦は、引き分
けられ、優勝が決まる大体大
両チームもGKの好セーブ

◆関西リーグ戦◆

2020年度の第98回関西学生サッカーリーグは、新型コロナウィルスの影響で毎年4月6日に行われる前期は中止になり、9月11日の後期のみが行われた。大阪体育大学は11戦7勝1敗3引き分け(近畿大学戦は不戦勝)で、3年連続6回目の優勝を果たした。2020年は夏の総理大臣杯、冬の全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)もコロナ禍で中止。関東のチームと戦った公式戦がなかった。関西王者の大体大として関東のチームに勝利するのは重要な役割。2021年は関東勢にぶつかるとの公式戦があるのを期待して、新チーム作りを始める。

得点できず0-0で引き分
けた。

表彰では、キャプテンのD
F有働平(体育4年)が最
優秀選手賞(関西サッカー協
会会長杯)、優秀選手賞、ベ
ストキープン賞を受賞。G
K吳森涼太(体育3年)とF
W高橋一輝(体育3年)が優
秀選手賞、松尾元太監督が優
秀指導者賞を受賞した。

◆第98回関西学生サッカーリーグ(後期)◆

2020年度の第98回関西学生サッカーリーグは、新型コロナウィルスの影響で毎年4月6日に行われる前期は中止になり、9月11日の後期のみが行われた。大阪体育大学は11戦7勝1敗3引き分け(近畿大学戦は不戦勝)で、3年連続6回目の優勝を果たした。2020年は夏の総理大臣杯、冬の全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)もコロナ禍で中止。関東のチームと戦った公式戦がなかった。関西王者の大体大として関東のチームに勝利するのは重要な役割。2021年は関東勢にぶつかるとの公式戦があるのを期待して、新チーム作りを始める。



木出雄斗(体育4年) 矢田貝壮貴(体育4年) 野寄和哉(体育2年) 優秀選手賞のFW高橋一輝(体育3年) 優秀選手賞(関西サッカー協会会長杯)、優秀選手賞、ベストキープン賞を受賞したキャプテンのDF有働平(体育4年)

2020年9月12日〜11月22日
大阪市・ヤンマーフィールド長居ほか

コロナ禍続く2021年も学生主体で

コロナに負けるな!

バレーボール男子



インカレ出場 果たすも初戦敗退

秋学期リーグ戦は龍谷大学に
3-0、立命館大学に3-1、
甲南大学に3-1、神戶学院
大学に3-1で勝利し、近畿
大学に0-3で敗北。順位決
定戦再び近畿大に1-3で
負け、2位になった。

この成績で第73回秩父宮
杯吉本バレーボール大学男
子選手権(インカレ)の出場
権を得、2020年12月1
日、岐阜協立大学と対戦。結
果は0-3でストレート負け

2020年春から夏にかけて
クラブ活動が停止になり、
学生らは自宅で自粛期間中も
浅井監督は細かな指示を出
して、体形が変わっている者
は、体形が変わっている者
はいなかった。自宅での特
トレーニングがきっかけで
いたのだ」と評している。



関西リーグ9位発進を2位に!!



2020年末にコロナ感染
者が急増し、2021年に入
って早々、またもや政府の
緊急事態宣言が大阪府にも発
令された。コロナ禍がまた続
くであろう2021年を見据
え、浅井監督は「大会の延期
や中止はあり得るもの、いち
いちがっかりしたりイライラ
しても仕方ない。大学生とし
て、勉強とクラブ活動を両立
して人間性を高めるという原
点を大事にし、学生自らが主
体となって取り組む方針の下
にバレーボールを向き合っ
てい」と話している。

吉武史晶(体育4年)

学生の公式戦すべて中止 無念の2020年

コロナに負けるな!

ハンドボール男子

秋の関西リーグ戦 代替試合は1位!



大阪体育大学のハンドボール部男子は、2018年の全日本学生ハンドボール選手権(インカレ)で優勝し、昨年はベスト8。今年(2020年)は、昨年の優勝時、2年生でベンチ入りしていた選手が残る最後の年。経験者の強みを生かしてインカレ優勝を目指していたが、学生の公式戦は新型コロナウイルスの影響ですべて中止になった。

「対外試合が全くないというのは本当(しつこい)」と話すのは、下川真監督(ハンドボール)だ。選手が百人いれば百通りの動きがある。試合で多くの選手の動きを経験することで、自分の技術も高まってくる。それができない1年だった。例年であれば、春と秋に関西学生リーグ戦があり、夏は関西学生トーナメント(西日本学生ハンドボール選手権(西日本インカレ))と2020年9月26日・10月11日

がある。これらを戦い抜いた集大成として、11月に全日本学生ハンドボール選手権(インカレ)があった。年間約30試合の公式戦を戦っていたが、これはゼロだった。

◆ ◆ ◆

関西リーグ戦の代替大会として「Substitute match of Kansai handball league 2020」が2020年9月26日・10月11日

の日程で開催された。大体大はリーグ戦で同志社大学に23-20、関西福祉科学大学に43-16、天理大学に27-25、京都産業大学に30-27で勝利。順位決定戦で大阪経済大学に30-18で快勝し、堂々の1位となった(しかし、関西でトップは当然の大体大に特別の喜びはない。下川監督は「関西1位は順当なので、練習の成果とまでは言えない。公式戦とは緊張感も全然違(え)い」と、「公式戦で強い関西のチームと戦いたかった。関東勢を倒してインカレで優勝という目標が最もモチベーションが上がる。特に1年生は、卒業後、ハンドボールを続ける学生は少ない」と言う。



Winter match in Kansaiに出場したハンドボール部男子のメンバー

冬の交流試合は中断

2020年11月28日からは、関西の大学の交流試合「Winter match in Kansai」が開かれたが、12月に入って新型コロナウイルスの感染拡大が看過できなくなり、試合は中断した(写真は2020年11月28日の神戸国際大学戦)。この大会は、大体大は1、2年生を出場させて新チームの戦力を試す場にするはずだったが、出陣をくじかれた格好だ。

◆ ◆ ◆

下川監督は「やはりウィルスが多くなることを懸念が広がったので、試合は中止した。2021年は夏に開催を合わせ、冬は忍耐の時だ」と思う。大体大男子ハンドボール部は、個人技のレベルが高い。関西勢を、チーム力と試合に全(ぜん)ぶぶつかるとは、ハードで打ち破るのが伝統。コロナ禍でこの練習をこなすのが、なかなか難しい。目標はチーム力に近づける。制限がある中でも、お互い切磋琢磨して、いい試合をしてほしい。



「雨山杯・部内大会」全大会中止を乗り越えて



大阪体育大学の剣道部は、2020年12月6日、熊取キャンパス第6体育館で「大体大コロナに負けるな2020 雨山杯・大阪体育大学部内剣道大会」を開催した。新型コロナウイルスの影響で今シーズンは、すべての大会が中止になってしまった。日頃の稽古の成果を披露する場を作ろうと企画した。学生を中心に大会準備を行い、試合の模様はライブ配信した。

◆ ◆ ◆

公式戦が無くなった毎週、練習は、午前中は男女別の個人戦、午後からは個人対抗戦が行われた。男子の個人戦は、延長戦が相次いだ。決勝戦は、最終学年で、

女子の個人戦は、石井七海(体育4年)と次期主将の本田和(体育3年)が決勝戦に臨み、スティービーな試合運びで本田が優勝した。

伊崎は「1年生の意地を感じた。全力で当たってほしい」と話した。本田は、先輩方の最後の試合なので、全力でぶつかろうと、試合がなくなるのが、悔しい。試合がなくなるのが、悔しい。試合がなくなるのが、悔しい。



西日本選手権の代替試合をオンラインで



西日本学生なぎなた選手権オンライン大会 2020年11月15日

なぎなたは2020年度、全日本学生なぎなた選手権(全日本インカレ)をばいじ(中止)した。初めの大会が中止になった。関西学生連盟の動きを聞いて、試合競技はできなくても、演技競技ならオンラインで実施できる。西日本学生選手権の代替試合として、2020年11月15日、オンライン大会を開催した。規則に

◆ ◆ ◆

男子のキャプテン、白井直人(教育4年)は、昨年のインカレは準優勝。今年は優勝できなかった。そのため、大体大では、内交流戦を行うことになった。男女別試合を、オンライン大会で行い、応援に来ることができないOB、OGらに向けて、オンライン大会を開催することになった。

◆ ◆ ◆

女子のキャプテン、中田莉緒(教育4年)は、大会が中止や延期ばかりで悔しい。1年だったので、交流戦を企画してもらって、4年間の集大成として、今年の出場を惜しまず、優勝したい。今後は感謝を込めて、部員一同、未来に向けて邁進していくと力強く語った。



コロナ禍で公式戦中止 アルティメット



大阪体育大学のアルティメット部は、2020年12月5日、大阪府堺市のJ-GREEN堺で部内交流戦を実施した。1994年に創部した大体大アルティメット部は、2020年が25周年。記念の年に新型コロナウイルスの影響で公式戦がすべてなくなり、4年生に感謝の意を表す部内試合を企画。創意工夫で部の伝統をつないだ。

◆ ◆ ◆

アルティメット部の歴史が長い。大体大と日本体育大学は、今後の両チームの発展、交流促進を目指し、「大体大×日本体育大学」を企画したが、コロナ感染の第3波が到来し、これも中止せざるを得なくなった。そのため、大体大では、内交流戦を行うことになった。男女別試合を、オンライン大会で行い、応援に来ることができないOB、OGらに向けて、オンライン大会を開催することになった。

◆ ◆ ◆

男子のキャプテン、白井直人(教育4年)は、昨年のインカレは準優勝。今年は優勝できなかった。そのため、大体大では、内交流戦を行うことになった。男女別試合を、オンライン大会で行い、応援に来ることができないOB、OGらに向けて、オンライン大会を開催することになった。

◆ ◆ ◆

女子のキャプテン、中田莉緒(教育4年)は、大会が中止や延期ばかりで悔しい。1年だったので、交流戦を企画してもらって、4年間の集大成として、今年の出場を惜しまず、優勝したい。今後は感謝を込めて、部員一同、未来に向けて邁進していくと力強く語った。

コロナに負けるな!

柔道

長い練習制限を乗り越えて

女子東(78キ級)、矢野(52キ級)3位入賞!
男子米永(66キ級)ベスト8

2020年度関西学生柔道体重別選手権(2020年12月5日~6日、兵庫県姫路市のウイック武道館(県立武道館)で行われ、大阪体育大学は、女子の東加珠(体育4年)が78キ級で、矢野有彩(体育4年)が女子52キ級でそれぞれ3位入賞した。男子は66キ級の米永光希(体育4年)が準決勝に進出はならなかった。

新型コロナウイルスの感染防止のため3月半ばから2ヶ月半、クラブ活動は中止。6月に活動が再開してからも柔道部はなかなか本格練習ができず、マスクなどで組み合う練習ができたようになったのは8月。試合も中止が相次ぎ、東は「昨年2月以降の試合なので、うまくできたろうかと不安があった」と話す。座席は間隔を空けて座らなくてはならず、みんなで仲間の試合を声で応援するのにも制限されるなど、会場は感じ



矢野有彩(体育4年) 一左



東加珠(体育4年) 一右



西尾碧(体育1年)



東(左)と矢野(右)



谷崎未緒(体育2年)



前川奈穂(教育2年)



川野柚希(体育2年)



数田亜美(体育3年)



辻彩果(体育3年)

増田3位 藪田優勝

DASHアスリート 自転車BMX

第37回全日本自転車競技選手権BMXレースが2020年10月24、25両日、大阪府堺市の大泉緑地サイクリズろんこ広場で開かれ、大阪体育大学のDASHアスリート、増田優一(体育1年)と藪田寿衣(体育1年)が出場した。

生田監督「新年度も感染防止第二で」

4年生は公式戦なしで卒業することになった。4年生は試合ができて良かったと喜んでいて、大会開催に感謝。新年度も引き続きコロナの感染防止を第一にし、強化はその後。学生たちには、この経験を将来、必ず役に立つので、プラスに考えるよう言っている」と述べた。



一瀬博貴(体育4年)



岩野光貴(体育3年)



久々宮寛大(体育1年)



中村海斗(体育1年)



長谷川晃己(体育2年)



徳本千大(体育4年)



林海斗(体育4年)



米永光希(体育4年)

オータム・チャレンジ 11種目で金

コロナに負けるな!

水上競技



男子400mフリーリレーで優勝した(左から) 武田力紀、村田勇輝、泉大雅、市川賢明



200m平泳ぎ男女V。(左から) 浅井拓実、榮楽遥香



200m個人メドレー男女V。(左から) 北村祥英、青山美咲



女子400mフリーリレーで優勝した(左から) 青山美咲、河津凛子、水谷楓、新山くるみ



男子400mメドレーリレーで優勝した(左から) 武田力紀、春岡尊太、浅井拓実、芝崎大翼

毎年7月に開かれている関西学生選手権水泳競技大会と関西女子選手権水泳競技大会が新型コロナウイルスの影響で中止になり、代替大会の「関西学生秋季水泳競技大会オータム・チャレンジ」が9月21、22両日、大阪市の丸善インテック大阪プールで開催された。大阪体育大学は男女11種目で優勝、水中もプールサイドも笑顔が弾けた。

尾関一将監督(男子)は「練習環境がなくなった。そんな中で学生たちは未だに目標達成に取り組んだ。それが素晴らしい。春からはコロナ禍でクラブ活動停止になり、心を誇りに思っていると述べた。

◇優勝選手は次の通り◇(学部は全員が体育学部)

【男子】1500m自由形 岸田晃祐(3年)▽1000m自由形 浅井拓実(4年)▽200m平泳ぎ 浅井拓実▽1000mバタフライ 春岡尊太(3年)▽200m個人メドレー 北村祥英(1年)▽400mフリーリレー 武田力紀(2年)、村田勇輝(同)、泉大雅(同)、市川賢明(3年)▽400mメドレーリレー 芝崎大翼(4年)、浅井拓実、春岡尊太、武田力紀

【女子】50m自由形 新山くるみ(2年)▽200m平泳ぎ 榮楽遥香(2年)▽200m個人メドレー 青山美咲(1年)▽400mフリーリレー 青山美咲、河津凛子(2年)、水谷楓(1年)、新山くるみ

コロナに負けるな!
バスケットボール男子

関西リーグ1部10位 インカレ出場できず コロナ禍の練習不足響く 「新チームは泥臭く、粘り強く!」

2020年度関西学生バスケットボールリーグ戦
2020年9月20日〜10月25日
京都府向日市・向日市民体育館ほか



梶原平(体育3年)

全日本大学バスケットボール選手権(インカレ)でベスト8入りを目標にしていた大阪体育大学のバスケットボール部男子は、2020年度は関西リーグ戦(1部)で12位に終わった。インカレ出場を果たせなかった。リーグ戦の成績は11戦3勝8敗だった。



原真矢(体育3年)



藤本巧太(体育3年)



藤本巧太 大阪エヴェッサと選手契約 自分の武器を生かし新たな挑戦をする

大阪体育大学のバスケットボール部男子の主将、藤本巧太(体育4年)が、プロバスケットボールリーグ「B1」の大阪エヴェッサと2020-21シーズンの選手契約をした。大阪エヴェッサでの目標として「自分の持っている味、スピドのあるドリブルを」と話している。

イブドリブルでディフェンスエリアに切り込みゴールに向かう。と仲間を生かす。バスケットボール部男子の主将を務める藤本巧太は、兵庫県出身で、育英高校から大体大に進学。2018年、U22日本代表候補に選ばれ、2018、2019年の関西学生選手権(インカレ)にも出場した。今年度は大体大バスケットボール部男子の主将を務め、新型コロナウイルス禍という異例の事態に見舞われた中で、

コロナに負けるな!
バスケットボール女子

順位決定戦を 勝ち抜き5位

第72回全日本大学バスケットボール選手権
2020年12月7日〜12月12日
東京都渋谷区・国立代々木競技場ほか



中村有希(体育4年)

大阪体育大学のバスケットボール部女子は2020年12月7日〜12日、東京都内で開催された第72回全日本大学バスケットボール選手権に出場。3回戦で敗れたが、順位決定戦を勝ち抜いて5位の成績を収めた。



大吉まな(体育2年)

2回戦の日本経済大学戦は、大吉まな(体育2年)と中村有希(同4年)が連続して3ポイントシュートを決めて好スタートを切ったが、大體大は後の出だしで5点差を詰め、最後までクロスオーバーの選手は、最後はクロスコッパで



奥村鈴(体育3年)

3回戦の相手は大体大3連覇中の東京医療保健大学。大體大は試合が進むにつれて調子が上がっていき、最終的に81-62で勝利した。

コロナでチーム作りができなかった2020年。ブロックに入らなければいいかと思いついた。入ってしまったと残念がる。中大路監督は、昨年同様、選手権を前にして8月にリーグ戦の開幕を前にした8月に、主力選手アディソン・ウィリアム(体育4年)と仲田泰利(体育1年)が、ケガをしてしまい、全体練習ができなかった。

中大路監督は「3回戦の相手は、東京医療保健大学。大體大は試合が進むにつれて調子が上がっていき、最終的に81-62で勝利した。」と話している。

チャレンジャー魂で2021年を走り抜く!!



竹永涼哉(体育1年)

大村拓人(体育3年)

田中晴哉(体育4年)

柳川正秀(体育3年)

黒木海斗(体育2年)



林蓮太(体育4年) 吉田海(体育3年)



2020ムロオ関西大学ラグビーBリーグ

2020年10月18日~12月6日/大阪府・大阪体育大学ラグビー場ほか

コロナに負けるな!

ラグビー

Aリーグ復帰の準備万端

3戦快勝 順位決定戦はコロナ禍で不戦勝

大阪体育大学ラグビー部は2019年度、関西大学ラグビーリーグでAリーグからBリーグに転落し、2020年度はBリーグで優勝してAリーグに復帰するのを至上命題としていたが、コロナ禍に見舞われ、リーグ間の「入替戦」はなくなった。それでも、大体大はBリーグ戦3戦3勝し、Aリーグ復帰に執念を見せた。全勝同士の1、2位順位決定戦は、相手の龍谷大学がコロナ感染者を出したことから試合ができなくなり、大体大は龍谷大と対戦したBリーグ1位となった。中谷誠監督は「最後に最悪な結果のある龍谷大と対戦したかった。不戦勝は残念だったが、と話す。一方、Aリーグも近畿大学がコロナ感染者を出して関西大学の最後の試合が出来ずじま。コロナ禍がラグビー界を振り回した2020年だった。

◆ ◆ ◆
 集団で激しくぶつかり合うラグビーにとって、新型コロナウイルスの発現は脅威だった。クラスターが発生しかねず、大体大ラグビー部の活動も緊張を強いられた。百人を

超える部員をグループ分けし、ラグビー場の練習場所、練習時間を分けて、万一部員から感染者や濃厚接触者が出た場合も全員が「自宅待機」にはならないようにした。幸い、2020年は感染者を出さず乗り切ることができた。

◆ ◆ ◆
 リーグ戦も2020年10月25日の花園大学戦を47-22で勝ったのを皮切りに、11月22日の神戸大学戦は97-21、11月29日の甲南大学戦は47-21で勝利した。花園大戦は初戦の緊張から出だしはミスが相次いだが後半立て直し、甲南大戦は非常に中谷監督は「甲南大は非常にためめなプレーだった。素早いディフェンスに勝たれなかったが、ここら辺は強度で負けていなかった」と振り返る。

◆ ◆ ◆
 2020年度の大会はAリーグ復帰を目指してフルタイムの指導者を導入。三菱



堂本雄一(体育4年)

第71回全国対抗ラグビーフットボール大会
 2020年の関西大学ラグビー部を終えた後、大体大ラグビー部は2021年1月16日~17日の「第71回全国対抗ラグビーフットボール大会(名古屋市内、パロマ瑞穂ラグビー場)」に出場した。例年、関西ではBリーグ5位の大学が参加する決まりの大会だったが、2021年はBリーグから参加者を募ることにし、1位の大会出場を決定。金沢大学、東北大学、鹿児島大学に大差で勝利し、優勝した。

◆ ◆ ◆
 中谷監督は「地区対抗大会への出場は選手たちへの目標設定であり、大体大の価値を高めて、春にでも関西リーグ

全国李選手権で準優勝



2020年9月18日~20日/和歌山県田辺市・田辺スポーツパークほか

決勝進出は初

第10回全国大学女子硬式野球選手権記念大会
 20日、和歌山県田辺市と上富町で行われ、大阪体育大学は準優勝した。春の大会では昨年度、準優勝したが、秋の大会で決勝進出は初め。

◆ ◆ ◆
 全国の10大学8チームが参加。18、19日は8チームをA組とB組の2グループに分けて予選リーグが行われ、大体大はA組1勝1引き分けの1位で通過した。上位4チームの決勝トーナメントでは、大体大は準優勝の環太平洋大学(岡山県)と対戦。エースの横井千晃(体育4年)は環太平洋大を1点に抑え、押し出し死球で2-1でサヨナラ勝ちした。

◆ ◆ ◆
 決勝では、予選リーグで1-1の引き分けだった尚美学園大学(埼玉県)と対戦。横井は初めての1日連続で臨んだ。五回までは尚美学園大



エースの横井千晃(体育4年)

2部団体総合

V 男子 優勝 **女子 準優勝**

2部個人総合

V 男子 近江1位、上田2位
女子 吉田2位

2020年10月19日~23日
 広島県福山市・エフピコアリーナふくやま(福山市総合体育館)

コロナに負けるな!

体操競技

第74回全日本学生体操競技選手権

大阪体育大学の体操競技部は2019年の大会で1部から2部になり残留を果たせず、2020年は1部復帰を目指したところ、年明け早々に新型コロナウイルス禍に見舞われた。大会は次々中止になり、10月になってようやく第74回全日本学生体操競技選手権(吉本サカレ)が広島福山市で開催された。コロナ禍という特殊な状況下での成績によって部の降格昇格はない方針という特別ルールでの開催だったが、大体大は男子が団体総合で優勝、女子が準優勝し、1部復帰への意地を見せた大会となった。

◆ ◆ ◆
 女子の吉田菜々花(体育1年)は、この大会の成績で2020年12月に開催されたオールジャパンの競技大会で、ある日本体操選手権に出場した。

◆ ◆ ◆
 全日本インカレ、男子の個人総合は、近江奎太(体育1年)が優勝し、主将の上田颯(体育4年)が準優勝。種目別では、近江があん馬で優勝、跳馬で3位。田中久樹(体育3年)が平行棒と鉄棒で優勝した。

◆ ◆ ◆
 コロナ禍で大体大では、クラブ活動が3月半ばから6月初め月末まで2カ月半停止になり、ようやく身体を動かすペースを再開した。7月に約2週間の練習期間があった。男子の藤原辰行監督は「復帰ははじめての練習時間がある。特殊な環境での練習が必要な競技で、1週間以上練習は必要ない。これは短気ではあり得ない。

◆ ◆ ◆
 どのくらいできるか、戻るのにどれくらいかかるのか、やってみないと分からない」と話す。2020年春先の関西インカレ、西日本インカレは中止になる一方で、教育実習や就職活動の一方で求められる。特に4年生は調整やモチベーションの維持も難しくなった。全日本インカレの成績は、想定を超える最大の得点だった。練習中断などコロナ禍の中で、佐藤寿治コーチの指導のおかげで学生たちは持ちこたえた。2021年は前年から先送りされた1部復帰を実現し、団体での全日本選手権出場を目指す。

◆ ◆ ◆
 全日本インカレ、女子の個人総合では、吉田が準優勝、飛山紗希(体育4年)が7位に入った。種目別では、吉田が段違い平行棒5位、跳馬で3位になった。

◆ ◆ ◆
 女子の田原寛監督は「今年(2020年)はコロナの影響でこの大会もベストな調整は無かった。高得点を目指し、逆境の中で選手らは精神一杯頑張った好成績だった。



全日本インカレに出場した男子選手



体操競技部女子のメンバー



全日本選手権に出場した吉田菜々花(体育1年)

全日本インカレに出場した女子選手



2年連続準優勝!!

中山佳穂(体育4年)



針原佳(体育4年)

第72回日本ハンドボール選手権

2020年12月23日~27日



岡田彩愛(体育2年)



前田優(体育2年)



笠井千香子(体育4年)



笠原里(体育3年)



吉留有紀(体育4年)



高木奈央(体育3年)



石川莉子(体育4年)



川上真愛(体育4年)



柳添まこと(体育1年)



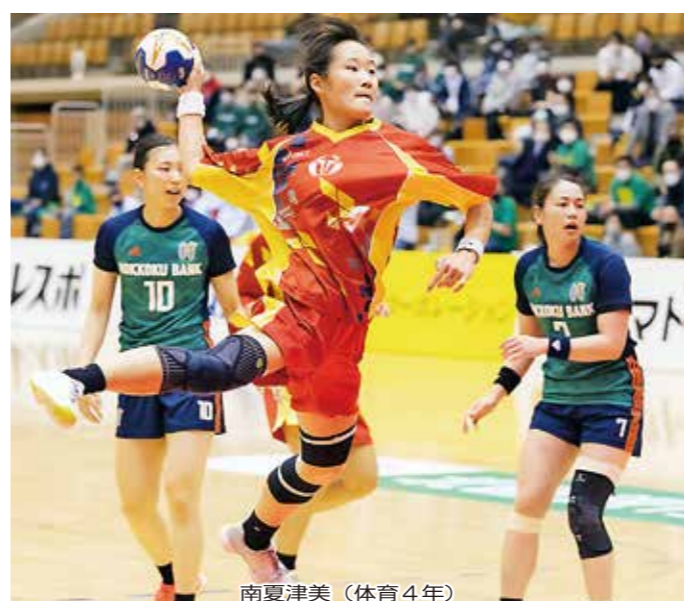
相澤梨月(体育4年)



竹内琉奈(体育1年)



中川彩花(体育4年)



南夏津美(体育4年)



尾辻素乃子(体育3年)

ハンドボール女子 コロナ禍を吹き飛ばす 大熱戦をありがとう!!



コミュニケーションで 不安を乗り越えた

選手兼マネジャー
表と裏の両面でチームを支えた
安田七海(体育4年)

今年は新型コロナウイルスの影響で関西リーグ戦も全日本学生選手権(インカレ)もなくなり、試合を重ねながら自信をつけていく過程が踏めませんでした。いきなり日本選手権に臨むことになり、とても不安がありました。みんなでプレーの打ち合わせをみっちりやって、チャレンジ精神でぶつかっていくことを確認し、コミュニケーションで不安を克服していった大会でした。

大阪体育大学のハンドボール女子はとにかくメンバー間のコミュニケーションを大事にしています。常日頃から先輩は積極的に後輩に声を掛けるし、試合に出られない選手はプレーを客観的に見て、選手たちに「ここはもっとこうした方がいい」とか気づいたことをアドバイスします。コロナ禍でクラブ活動が停止になり、自宅待機になった時は、ZOOMを使ってメンバーと話をしていました。

私も4年間を振り返ると、試合に出場するためチーム内のライバルと切磋琢磨し、精神的にきつい時には先輩に支えてもらいました。チームとしてまとまった目標を立ててそれに向かって進む一方で、試合に出る選手、出られない選手にそれぞれ役割があります。試合のメンバーに入れなかった選手たちがやるべきことを認識して果たしているのが、大団円の強さを支えていると思います。

楠本繁生監督はただ単に目の前の試合に勝てばいいという方針ではなく、試合内容を厳しく見ます。日本選手権でも初戦の後、選手にとっても厳しい指導をしていましたが、「次につながる試合をしろ」ということです。日常的には主力メンバーだけでなく、チーム全体を見て、人間としてどうあるべきか教えてもらったと尊敬しています。

私は4年生の今年(2020年度)、選手兼マネジャーになり、マスメディアの取材の段取りや、大会の出場申請などいろいろな経験をさせてもらいました。卒業後はハンドボールから離れ、幼児保育の仕事に就きます。社会人になっても、ハンドボール部で学んだコミュニケーションの大切さや、目標に向かって努力するマインドを活かしていきたいです。

コロナ禍がなかなか収まらず、後輩たちはまだ異例の事態が続くと思います。大団円のハンドボール部女子は2019年までインカレを7連覇していますが、チームは毎年、新しく生まれ変わります。先輩たちが優勝したからと言って、自分たちが優勝できるとは限りません。「強豪」と言われるチームでも、伝統を受け継ぐには常にチャレンジ精神が必要です。新型コロナウイルス禍では「何が起るか分からない」ということを痛感しました。この経験からよりタフなチャレンジ精神を養って頑張ってください。